

皆様、新年あけましておめでとう
ございます。

輝かしい平成24年の新春を迎えられ、心からお喜び申し上げます。町民の皆様には、平素から町議会に對しまして、深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

ご承知のとおり、町議会におきましては、昨年4月の改選により、新たに18名の議員が誕生いたしました。議員一同、議会の使命を果たしつつ、町民の皆様への付託にこたえるべく一致団結して町の振興発展のため、誠心誠意を信条に邁進してまいりたいと思っております。

さて、昨年を振り返ってみますと、待望久しかった九州新幹線の全線開業という明るい話題はあったものの、年明けから、一昨年の口蹄疫に続き鳥インフルエンザの流行、新燃岳の噴火といった災難が続き、特に3月に発生した東日本大震災では、大津波被害により死者・行方不明者が2万人を越す戦後最悪の自然災害となり、その二次災害となった福島原発によるいまだ収束のめどがたない全国的な放射能汚染の問題等、不安な世相を印象付けられた1年であったように思います。

幸いにも益城町では大きな災害に見舞われることはありませんでしたが、町議会としても、昨年起きた一連の災害を他人ごととせず、常日ごろから「備えと構え」を意識した

防災・減災の取り組みを行政と共に真剣に考えていかなければならないと思えます。

また、当町におきましては、地元選出県議会議員の誕生や、くまもと臨空テクノパークへの企業進出計画の凍結解除というように、今後は熊本県との密接な関係を維持するとともに、今年、政令指定都市に移行する熊本市との協力関係も重要となる年と見込まれます。

町議会としても、町行政はもちろん町内外の親交を深めつつ、議員個人の研さんを積み、住民福祉と町の活性化を第一に考え、住民一人ひとりの代弁者としての使命を果たしていかなければならないと深く肝に銘じているところでございます。

昨年策定されました「第五次益城町総合計画」では、豊かな自然と調和した活気あふれる安心・安全なまちづくりを町の将来像として掲げられています。「住みやすい・子育てしやすい日本一の町」を目指し、今年の干支でもあります龍のごとく、益城町が大きく飛躍する年となりますよう願うものでございます。

最後になりますが、町民の皆様には、昨年と同様、今年も益城町議会へのなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様方にとりまして希望に満ちたすばらしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

責務を全うしつつ、 共に飛躍する年に！

益城町議会議長

福永 誠一